
■ スペイン語の歌で発音矯正・リスニング力強化 カンターモス 第20回 ■

こんにちは。宮崎です！
今回の第20回目では、前回の続きで、
メキシコ人歌手、アナ・バルバラと
パキータ・ラ・デル・バリオが歌う
El Consejo という歌を使ってワークに
取り組んでいきましょう。

■ 本講座を实践頂くにあたっての注意事項：

・ 本講座ではスペイン語の歌を中心に扱いますので、
出来れば音質の良いスピーカー、ヘッドフォン等を
使用頂くことをお勧め致します。

・ 本講座では YouTube 動画を用いて内容を実践して
頂きますので、必ずインターネットに接続出来る
環境で受講下さい（なお、動画のダウンロードは
法律で禁止されていますのでご注意下さい）。

・本講座では個人や企業といった第三者が YouTube 上にアップロードしている動画を活用致します。このため、稀に動画が削除・変更されることがありますので、予めご了承下さい。

・万一動画が削除されている場合は恐れ入りますがご一報頂けますと幸いです。また、殆どのケースで曲のタイトル（スペイン語）で YouTube を検索すると別の動画を見つけることが出来ますのでご協力お願い致します。

■ 今回のアーティスト情報

・ Ana Bárbara （アナ・バルバラ）
Paquita La Del Barrio （パキータ・ラ・デル・バリオ）

・出身地

アナ・バルバラ：メキシコ サン・ルイス・ポトシ州リオ・ベルデ市
パキータ・ラ・デル・バリオ：メキシコ ベラクルス州アルト・ルセーロ

・国籍：メキシコ

・ジャンル

アナ・バルバラ：グルペーロ クンビア ランチェーラ レゲトン
バンダ・シナロエンセ
パキータ・ラ・デル・バリオ：ランチェーラ

・活動時期

アナ・バルバラ：1994 年～現在
パキータ・ラ・デル・バリオ：1970 年～2023 年

・公式サイト：不明

.....

今回取り上げる El Consejo は、メキシコ人の
アナ・バルバラとパキータ・ラ・デル・バリオ
によるコラボですね。

アナ・バルバラは 2005 年に
ラテン・グラミー賞を受賞、2006 年には
グラミー賞にノミネートされました。

一方、パキータ・ラ・デル・バリオは
一度結婚しますが、2 人の子供を産んだ後、
歌手になるという夢を追い、離婚します。

そして 2023 年 4 月 1 日のコンサートを
最後に健康上の理由で引退しています。

■ まずは「曲」を聴いてみよう！

Ana Bárbara y Paquita La Del Barrio — El Consejo

<https://www.youtube.com/watch?v=lp8WpmGmYN4>

*音が出ます。注意して下さい。

上記リンクを右クリックし、「新しいタブで開く」または「新しいウィンドウで開く」をクリックすると、テキストを開いたまま、別ページで動画を見ることが出来ます。

まずは数回、歌詞の意味などは分からなくても構わないので、そのまま自然体で歌を聴いてみましょう。

その時、以下の点について注意して聴いてみましょう：

1. 曲を聴いて、どんなイメージを持ったか？

Primera impresión 「第一印象」は大切です😊
あなたがこの曲を聴いて、どんなイメージを抱いたのか、どんな感情になったのか等を意識しながら聴いてみましょう。

2. スペイン語の「音」を意識して聴こう！

日本の歌と比べてどう違うのか？ 特に、スペイン語のリズム、強弱（抑揚）、

アクセント等々、気になった点、印象に残った点を覚えておきましょう。

そのような「違い」に気付くことが発音矯正の第一歩となります。

3. スペイン語の「息遣い」や「子音」にも注目しよう！

「音」的な特徴と同様に、歌手の「息遣い」「子音」に気を付けながら聴いてみましょう。どこで息を強く吐いているのか、そして「子音」(a/e/i/o/u といった母音以外の音)で特徴的なものがないかも、注目してみましょう。

*尚、発音やリスニングに関する詳しい解説は後程下に記載しますので、そちらを参考にしてみてください。

■ リスニング・ワークにチャレンジ！

では、ここからはリスニング・ワークにチャレンジです。以下に歌詞を記載しますが、部分的に空欄にしていますので、その空欄にどんなスペイン語が当てはまるのか、曲を聴きながら考えてみましょう。

勿論、現時点でスペルが分からなくても大丈夫です。分からない時はカタカナで

書いても OK です。また、空欄の部分が
なんと言ってるか分からなくても OK です。
後で分かるようになれば、それで OK です。

しかも、これは勉強ではなく
遊びですから、パズルで遊ぶような感じ
でチャレンジしてみましよう(^ ^)

今回のリスニングワークでは、
2分10秒から最後まで取り組むこととします。

『El Consejo』

¿Estás oyendo, ()?

Méndigo arrastrado

Para seguirle los pasos

() la manera

Voy a tener ()

() a quien me hiera

Y () vayan de infieles

Recuérdales siempre el tema

()

() Lorena

Al que me engañe, lo engaño
Al que me pegue, le pego
Al que me use, lo uso
Y así quedamos parejos

Al que me insulte, lo insulto
Al que me quiera, lo quiero
Al que me cuide, lo cuido
Pero al que me friegue, lo friego

()
A esa bola de coquetos

.....

■ 歌詞のスク립トを確認しよう！

さて、あなたはどれだけ聞き取ることが
出来たでしょうか？ 以下に、歌詞（全文）を
記載致しますので、答え合わせをしてみましょう。

¿Estás oyendo, inútil?
Méndigo arrastrado

Para seguirle los pasos
Encontraré la manera
Voy a tener las agallas
De dejar a quien me hiera

Y a los que vayan de infieles
Recuérdales siempre el tema
De lo que hizo a su hombre
Esa famosa Lorena

Al que me engañe, lo engaño
Al que me pegue, le pego
Al que me use, lo uso
Y así quedamos parejos

Al que me insulte, lo insulto
Al que me quiera, lo quiero
Al que me cuide, lo cuido
Pero al que me friegue, lo friego

Hay que enseñarles respeto
A esa bola de coquetos

.....

■ 歌詞の和訳と覚えるべき語句・表現！

*本講座はスペイン語学習が目的ですので、敢えて芸術的な訳はせず、シンプルな訳とします。また、意識も含まれますのでご了承下さい。

また、歌の中で同じ歌詞が出てくることがありますが、一度出てきた歌詞の日本語訳と解説は、割愛させていただきます。

歌詞と和訳は、2分10秒から最後までです。

¿Estás oyendo, inútil?

「聞こえてる？無駄かな？」

oyendo は oír 「～が聞こえる」という動詞の現在分詞です。

estar 動詞+現在分詞で「～しているところ」という、現在進行形の表現です。

inútil は、通常 ser 動詞を伴う形容詞で「無駄な」「役に立たない」という意味になります。

ここは解釈が難しいところですが「聞くだけ無駄かな？」というニュアンスで良いでしょう。

Méndigo arrastrado

「酷い人」

méndigo は辞書を引いても記載がないと思いますが「卑しい」「下劣な」

という意味ですね。

arrastrado も良い意味の語句ではなく「貧しい」「ごろつき」というような意味があります。要するに、相手のことを「酷い人」「ダメな人」「最低」などのニュアンスで言っているのです。

Para seguirle los pasos encontraré la manera

「あなたの足跡を辿るための手段を見つけるわ」

para+動詞原型「～するために」「～するための」

seguir 「ついていく」「後を追う」「進む・たどる」
seguirle なので「あなたを追う」ということですね。

paso 「歩み」「足跡」「道」

encontraré は encontrar 「見つける」「会う」という動詞の未来形で yo（私）を主語とする活用です。

manera 「方法」「手段」

Voy a tener las agallas de dejar a quien me hiera

「私を傷つける人を捨てる勇気を持つわ」

voy は ir 「行く」という動詞の yo（私）を主語とする活用ですね。

【ir a+動詞原型】の形で「～する（つもりである）」という表現でしたね。

tener las agallas de+動詞原型「～する勇気を持つ」

dejar にはいろいろな意味がありますので、お手持ちの辞書で確認しておきま

しょう。ここでは「捨てる」「去る」という意味で使われています。

hiera は herir 「傷つける」という動詞の活用の1つで、通常とは違う活用をする動詞です。「身体を傷つける」「心を傷つける」の両方の意味で使えます。

me hiera なので「私を傷つける」ということですね。

Y a los que vayan de infieles

「そして、浮気するような男たちも」

vayan というのは ir 「行く」という動詞の接続法の活用の1つですね。

なぜ接続法になるのか？まあ、あまり拘らない方が良いと思いますが(^ ^)
接続法というのは、願望や可能性、その他様々な感情を表現するために使いますが、大抵の場合、他の動詞を伴って使われます。

infiel というのは「不誠実な」という意味や「浮気している」という意味で使われたりします。

Recuérdales siempre el tema de lo que hizo a su hombre esa famosa Lorena

「かの有名なロレーナが夫にしたことを常に思い出させるのよ」

recuerda は recordar 「思い出させる」という動詞の命令形ですね。

recuérdales なので「彼らに思い出させる」ということですね。当然、浮気をするような男たち、のことですね。

tema 「テーマ」「主題」

lo que～の表現は使えるようにしておきたいですね。

lo que～で「～なこと」という表現になります。

lo que hizo a su hombre なので「彼女の夫にしたこと」ですね。

hizo は hacer 「する」「作る」という動詞の過去形（点過去）の活用の1つ。

hombre は「男性」ですが、ここでは「夫」という意味で使われています。

この歌詞の部分は、とある事件のことを知っていないと、意味を理解するのは難しいかと思います。

その事件とは、1993年6月23日の夜、エクアドル人女性のロレーナ・ボビットが夫の John Wayne Bobbitt の性器を食肉ナイフで半分切り落とした、という世界を震撼させた事件のことです。

Al que me engañe, lo engaño

「私を騙すなら、私もあなたを騙します」

【al que+接続法】の形で「(もし)～するらな」という表現になります。

接続法の活用にするのは、al que の後ろの動詞だけです。なので、この歌詞の場合、最後は engaño となっていて、接続法の活用にはなっていませんね。

Al que me pegue, le pego

「私を殴るなら、私もあなたを殴ります」

pegue は pegar 「くっつく・張り付く」「殴る」という動詞の活用の1つですね。

Al que me use, lo uso

「私を利用するなら、私もあなたを利用します」

Y así quedamos parejos

「私たちは平等（対等）です」

y así 「それならば」「それで」という意味になります。

quedamos は quedar という動詞の活用の1つですね。

ここでは quedamos parejos なので「平等のまま」という意味になります。

Al que me insulte, lo insulto

「私を侮辱するなら、私もあなたを侮辱します」

insulte, insulto は insultar 「侮辱する」という動詞の活用の1つですね。

Al que me quiera, lo quiero

「私を愛するなら、私もあなたを愛します」

quiera, quiero はこの講座でも何度も出てきていますね。querer という動詞の活用の1つで、ここでは「好き」「愛している」という意味ですね。

Al que me cuide, lo cuido

「私のことを気にかけるなら、私もあなたのことを気かけます」

cuide, cuido は cuidar 「世話をする」「気を配る」という動詞の活用の1つですね。

Pero al que me friegue, lo friego

「でも、私を困らせるなら、私もあなたを困らせます」

friegue, friego は fregar 「洗う」「困らせる」「うざりさせる」という動詞の活用の1つです。

Hay que enseñarles respeto

「彼らに【尊敬】を教えなければならない」

【hay que + 動詞原型】の形で「～しなければならない」という表現になります。【tener que + 動詞原型】と同じような意味ですね。

enseñar 「教える」

respeto 「尊敬」「尊重」「敬意」

A esa bola de coquetos

「その浮気者たちに」

ここでの a は「～に」という対象者を表す a ですね。

coqueto というのは聞きなれない語句ですが「浮気」というニュアンスの語句になります。

「その浮気者たちに【尊敬】というものを教えてやらなければ」ということですね。

.....

■ 歌詞と発音は、こうだ！

リスニングのワークで既に歌詞を確認していますが、
以下に、歌詞と発音を記載いたしますので、是非、
大きな声で歌ってみてください😊

¿Estás oyendo, inútil?

エスタス オジェンド イヌーティウ？

Méndigo arrastrado

メンディゴ アラストラド

arrastrado 「アラストラード」の rr の「ラ」は巻き舌になっていますね。
そして、伸ばさずに「アラストラド」ですね。

Para seguirle los pasos

パラ セギーウレ ロス パソス

seguirle はローマ字読みだと「セギールレ」となりますが「セギーウレ」とい
う感じで発音されていますね。

pasos は日常会話だと「パーソス」と発音されることが多いです。

Encontraré la manera

エンコントラレ ラ マネーラ

Voy a tener las agallas

ボイ ア テネール ラス アガージャス

tener「テネール」の「ル」は弱く発音されています。

las「ラス」の「ス」も弱く発音されていますね。

De dejar a quien me hiera

デ デハール ア キェン メ イエラ

Y a los que vayan de infieles

イ ア ロス ケ バジャン デ インフィエレス

de infieles「デ インフィエレス」の「イン」は弱く発音すると良いです。

Recuérdales siempre el tema

レクエルダレス スイエンプレ エル テマ

el「エル」は弱く発音されています。

De lo que hizo a su hombre

デ ロ ケ イソア ス オンブレ

hizo a「イソ ア」の部分は「イソア」という感じに聞こえますね。

Esa famosa Lorena

エサ ファモサ ロレーナ

famosa は日常会話だと「ファモーサ」ですね。

Al que me engañe, lo engaño

アウ ケ メ ンガニェ、ロ エンガニョ

me engañe 「メ エンガーニェ」の部分は「メンガニェ」と聞こえますね。

Al que me pegue, le pego

アウ ケ メ ペゲ、レ ペゴ

Al que me use, lo uso

アウ ケ メ ウセ、ロ ウソ

Y así quedamos parejos

イ アスイ ケダモス パレホス

Y asíは「ヤスイ」という感じにも聞こえますね。いずれにしてもY「イ」を弱く発音すると良いです。

quedamos, parejos は日常会話だと「ケダーモス」「パレーホス」ですね。

Al que me insulte, lo insult

アウ ケ メ インスウテ、ロ インスウト

Al que me quiera, lo quiero

アウ ケ メ キエラ、ロ キエロ

Al que me cuide, lo cuido

アウ ケ メ クイデ、ロ クイド

Pero al que me friegue, lo friego

ペロ アウ ケ メ フリエゲ、ロ フリエゴ

Hay que enseñarles respeto

アイ ケ エンセニャレス レスペト

enseñarles はローマ字読みだと「エンセニャールレス」ですが、
「エンセニャレス」と発音されていますね。

A esa bola de coquetos

ア エサ ボラ デ コケトス

coquetos 「コケトス」の「ス」は殆ど発音されていません。

.....

はい。

ということで、第 20 回の講座でした。

なんだか、お芝居を見ているような
感じの歌でしたが(^^)

スペイン語はローマ字読み、
カタカナ読みで通じるわけですが、
el や la、los や las のような冠詞、

そして de などの語句は、会話の中でも
弱く発音すると、よりネイティブっぽく

なりますね(^ ^)

では、今日はここまで！
お疲れ様でした。